

平成 2 9 年度行政事業レビューシート (厚生労働省)											
事業名	A M R対策推進費				担当部局庁	健康局			作成責任者		
事業開始年度	平成 2 9 年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし		担当課室	結核感染症課			三宅 邦明		
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年10月2日法律第114号)				関係する計画、 通知等	薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(平成28年4月5日 国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議決定)					
主要政策・施策	-				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成28年4月5日にとりまとめられた「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン(国際的に脅威となる感染症対策関係閣僚会議とりまとめ)」に基づき、薬剤耐性に関する各種施策を推進することにより、薬剤耐性感染症の発生・まん延を防止することを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	①日本においてAMR対策を含むワンヘルス・アプローチに関する国際会議を開催する。 ※事業開始年度:平成29年度 ②AMR対策を推進するため、国民に対し薬剤耐性や抗微生物薬の適正使用に関する知識や理解を深めるための普及啓発を行う。 ※事業開始年度:平成29年度 ③薬剤耐性に関する医療・福祉における情報を集約し、医療専門職、福祉従事者等に向けたオンラインでの情報提供や研修機会を提供する機関として臨床情報センターを設置し、医療・介護福祉分野における情報提供や啓発・教育を推進する。 ※事業開始年度:平成29年度 ④薬剤耐性菌感染症の発生動向調査体制を確立し、問題のある薬剤耐性菌感染症の早期警告や院内感染対策指針の作成、さらには抗生物質の適正使用等の対策を実施する。 ※事業開始年度:平成12年度(平成28年度までは「院内感染対策」事業の一部として実施。)										
実施方法	直接実施、委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	390	404				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
	計		0	0	0	390	404				
	執行額		-	-	-						
	執行率 (%)		-	-	-						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由						
	衛生関係指導者養成等委託費		276	282	「新しい日本のための優先課題推進枠」404						
	医薬品審査等業務庁費		66	72							
	社会保障関係情報化業務庁費		48	48							
	委員等旅費		0	0							
	職員旅費		0	0							
	計		390	404							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	①AMRIに関する国際会議の参加国数		参加国数	成果実績	か国	-	-	-	-	-	
				目標値	か国	-	-	-	-	11	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	結核感染症課調べ										
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	②AMRIに係るリーフレット等の配布数		配布数	成果実績	枚	-	-	-	-	-	
				目標値	枚	-	-	-	-	4,000	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	結核感染症課調べ										

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 29 年度
	③医療従事者等を対象とした研修会の参加者数	参加者数	成果実績	人	－	－	－	－	－
			目標値	人	－	－	－	－	1,000
			達成度	%	－	－	－	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	結核感染症課調べ								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 29 年度
	④黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合を前年度以下とする	黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合	成果実績	%	－	－	－	－	－
			目標値	%	－	－	－	－	49
			達成度	%	－	－	－	－	－
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	院内感染対策サーベイランス事業								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	①AMR対策を含むワンヘルス・アプローチに関する会議の開催回数	活動実績	回	－	－	－	－		
		当初見込み	回	－	－	－	1		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	②AMRに係るリーフレット等の作成枚数	活動実績	施設	－	－	－	－		
		当初見込み	施設	－	－	－	4,000		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	③AMRに関する研修会の実施回数	活動実績	回	－	－	－	－		
		当初見込み	回	－	－	－	4		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	④院内感染対策サーベイランス事業参加医療機関数	活動実績	施設	－	－	－	－		
		当初見込み	施設	－	－	－	1,990		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト＝X／Y	単位当たりコスト	円	－	－	－	39,771,000		
	X:「会議の開催に要した額」 Y:「会議の開催回数」	計算式	X/Y	－	－	－	39,771,000／1		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト＝X／Y	単位当たりコスト	円	－	－	－	2,047		
	X:「AMRに係るリーフレット等の作成に要した額」 Y:「AMRに係るリーフレット等の作成枚数」	計算式	X/Y	－	－	－	8,190,000／4000		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト＝X／Y	単位当たりコスト	円	－	－	－	68,884,500		
	X:「AMRに関する研修会に要した額」 Y:「AMRに関する研修会の実施回数」	計算式	X/Y	－	－	－	275,538,000／4		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト＝X／Y	単位当たりコスト	円	－	－	－	33,496		
	X:「院内感染対策サーベイランス事業に要した額」 Y:「院内感染対策サーベイランス事業の参加医療機関数」	計算式	X/Y	－	－	－	66,658,000／1990		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	I-5 感染症など健康を脅かす疾病を予防・防止するとともに、感染者等に必要な医療等を確保すること												
		施策	I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること												
		測定指標	定量的指標					単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度		目標年度 32 年度	
			人口1,000人あたりの一日抗菌薬使用量	実績値	DDD	－	－	－	－	－					
				目標値	DDD	－	－	－	－	10.5					
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係													
	「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」に基づく薬剤耐性に関する各種施策を推進することにより、薬剤耐性感染症が増加する要因の一つである、抗菌薬の不適正使用を抑制できると考える。														
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	－		－									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)					単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度		目標最終年度 － 年度	
			－	成果実績	－	－	－	－	－	－					
目標値				－	－	－	－	－	－						
達成度				%	－	－	－	－	－						
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)					単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度		目標最終年度 － 年度		
		－	成果実績	－	－	－	－	－	－						
			目標値	－	－	－	－	－	－						
			達成度	%	－	－	－	－	－						
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係															
－															

事業所管部局による点検・改善													
	項 目						評 価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。						○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するために感染症に対する情報収集及び情報発信は重要であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。						○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するためには、国際的・広域的な対応が必要であり、国が実施すべき事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。						○	感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するために必要な措置を講じる事業であり、感染症の発生・まん延の防止を図るという政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。						－	－					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。						無						
	競争性のない随意契約となったものはないか。						無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。						－	－					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。						－	－					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						－	－					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						－	－					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						－	－					
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						－	－					
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。						－	－					
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。						－	－					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。						－	－					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						－	－					
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						－	－					
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						－	－					
	所管府省名	事業番号	事業名										

点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
		事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	117	平成23年度	97	平成24年度	74	
平成25年度	72	平成26年度	78	平成27年度	84	
平成28年度	80					
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。					
	厚生労働省 390百万円 【補助金等交付】 A 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター AMRIに関する臨床情報センター事業に必要な経費 【一般競争契約(最低価格)等】 B 民間業者等 国際会議の開催に必要な会場借料、普及啓発資料の作成業務、薬剤耐性菌発生動向調査システムの運用業務 等 【その他】 C 個人等 国際会議の参加者等に対する旅費・謝金 事務費					

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-		-	-	-

